



「地域に活力を!
そこにはいつも商工会」

商工会だより

繁 栄

No. **335** 2023年 春号 編集発行：河津町商工会 静岡県賀茂郡河津町浜 159-1
TEL (0558) 34-0821 [ホームページ](http://www.k-kappa.com) http://www.k-kappa.com
FAX (0558) 32-0305 [メールアドレス](mailto:kawazu-s@k-kappa.com) kawazu-s@k-kappa.com



いずみ おく ぼら のうえん

泉奥原農園

河津町梨本 801 TEL: 080-3205-4941

いなば ひさし

稲葉 永 さん

原木椎茸を通して地域の魅力を後世に

首都圏でのイタリア料理の経験を経て、2021年に実家の原木椎茸栽培を引き継ぎ、原木椎茸の魅力を広めるため原木椎茸の加工品販売業として泉奥原農園を創業しました。

加工商品はネット販売の他、河津町内では観光交流館、かま康などで販売していますので、是非一度ご賞味ください。

商工会の現況 (令和4年度当初)

商工業者数	511
小規模事業者数	474
会員数	374
(会員内訳)	
商業	93
建設業	83
観光サービス業	166
その他	32
令和4年度予算 103,600 (千円)	

年頭あいさつ



河津町商工会 会長

長谷川 延之

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より商工会員、また町民の皆様方には、商工会事業にご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年暮れから、またしても新型コロナウイルス第8波の感染拡大が続き、まだまだ予断を許さない状況に、近年これだけ長期間に渡り、出口の見えない逆境があったでしょうか。オイルショックやバブル崩壊、リーマン・ショックでさえ、今の経済状況と対比すると、小さなことのように感じます。

3年もの間、コロナ禍によって、われわれ小規模事業者の経営は危機的状況に陥っており、外出自粛や消費マインドの低下、イベントの中止、更に、材料費の高騰により急激な物価高となり、商売も生活もより厳しくなってきました。

こうした危機的状況に、国が新型コロナウイルス対策として、自治体に拠出した「地方創生臨時交付金」がデジタル基盤を整えないまま巨費を地方に注いでことで、本当に支援が必要な住民に効率よく給付できていないことに、不満が続出しています。経

済支援と生活支援の違いについても分かりにくく、誤解を招く方も多くなっているようです。

好むと好まざるとに関わらず、新しい時代には、変化を受け入れて順応していくことが求められ、組織的なことであれ、技術的なことであれ、このような傾向は、今後も続いていくことと思われます。

コロナ禍によって、予想すら出来なかった逆境や困難な状況に直面し、それをどのように乗り越えて、新しい働き方が浸透する時代に突入できるかが、事業や組織を進める上で重要となります。

「私にはできない」ではなく、「何ができる」と考え、現場を知り、観て聴いて、どう動くか！ 苦しい時だからこそ、分かる人に聞き、共に助け合い、それぞれの立場からの前向きな行動が求められることが必要と感じています。

さて、河津町商工会では昨年10月、創立60周年を迎え、節目として式典を開催いたしました。設立以来、商工会を支えてこられました諸先輩方や関係団体のご指導・ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

その中で、私が一番感じていたこととして、多くの事業者の存在は、その事業者を長きに渡って支えてこられた従業員さんたちであり、感謝をこめ商工会から従業員表彰をさせて頂きました。

また、今年3月には、伊豆縦貫自動車道路河津町内の梨本・逆川間が開通する予定です。河津町・東伊豆町の観光へ通じる道しるべとして、大切なインターチェンジの名称は、河津七滝・河津逆川と発表され、そこから伸びる重要な動脈であるアクセス道路は、町の将来に大きく影響を及ぼすと想定されています。特に沢田・田中地区においては、一般的に考えた場合、流入人口の増加によ

り、商工観光業に期待を求めることは当然と思われ、それによって住みやすい町となり、定住人口の増加が期待されています。アクセス道路の早期実現は、県と町と周辺地権者・住民の協力が重要であり、商工会においても、町と共に県への要望を行ってききました。

こうした流れも含め、コロナ禍において、国が最優先する経済対策に併せ、地方経済の立て直しは、国全体のおよそ99%が小規模事業者であり、その事業者が、地方経済を支えていることを再認識し、商工会事業者の事業継続を最優先し、全力で伴走支援に取り組む姿勢こそ、商工会の役割であり、ますます重要とされます。

10年後の河津町の人口はこのままでは、6000人を割る予測も出ています。地元の高校を卒業し、就職場所は限られ、働く場所がないからこの街には住めない。大学・専門学校を卒業しUターン就職を希望しても、働く場所がないでは、人口の推移は減少するばかりとなります。商工会員の中にはデジタル化が進み、高齢事業者は、その対応に苦しみ、廃業をちらつかせながらも、こうした若い社員の受け入れを検討し、将来の後継者として待ちわびている事業者もいます。商工会の経営指導員は時代の変化に添い、過去にない経営サポートに飛び回っています。

小規模事業者にとって厳しい時代を乗り切る為に、役員一同一丸となって、地域経済の活性化と、会員事業者の経営発達を、推進・支援してまいりますので、皆様方の更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

60周年
記念特別企画

広報委員の選ぶ三大行事③

【女性部の主なあゆみ】

河津町商工会 60周年を迎え、これまでの女性部活動を振り返る中で、様々な事業が思い浮かびました。部員みんなで3日間かけて作ったところ天、ビール祭りに出店したヨーヨーつり、桜まつりに向けて行ったクリーン作戦、長年続けている福祉施設へのお花の寄贈、コロナ禍では、手作りマスクを町に寄贈したことは記憶に新しい事業です。そのような中でも、平成16年度「土佐の高知よさこい」ブームがあり、女性部でも「河津町を元気に、町の活性化に繋げよう」と、一丸となって行った河津町よさこいオリジナル曲の作成は、女性部にとって新たなチャレンジでした。町に古くから伝わる「河津囃子」をアレンジしたオリジナル曲「河津囃子よさこいバージョン」を作成。平成17年2月10日の河津桜まつりオープニングセレモニーで初披露しました。

平成22年8月には河津町代表として中国で開催された上海万博に参加し、大舞台上で「河津囃子よさこいバージョン」を披露した時は、海を渡り河津の魅力を発信できたことが、とても感慨深く嬉しく感じました。

これらの事業を通じて、女性部の絆が深まっただけでなく地域の方々との繋がりを持てたことは、商工会女性部のとても大きな財産となり、後に製作した「河津町新生総おどり花こよみ」も多くの町内外の皆さまにご協力いただき、完成することができました。

これからも町のシンボルである「河津桜」のように、女性部の事業が何年も地域にきれいな花を咲かせ続けられるよう、部員一丸となって活動に取り組んでいきます。



令和2年
手作り布マスク寄贈



平成9年 ところ天作り



平成22年 上海万博にて
河津囃子よさこいバージョン披露



平成17年 河津桜まつりオープニングセレモニーにて

そうずら〜そうずら〜河津郷♪
ちよつ〜くら来てみな
寄ってみな♪

河津寄って軽トラ市とテント市開催



テント市の様子



軽トラ市の様子

12月11日(日)、河津町 笹原の姫宮通りにて「第37回河津寄って軽トラ市」を開催しました。今回はJAふじ伊豆河津桜支店駐車場にて「テント市」も同時開催しました。

軽トラ市はコロナの制限を緩和しての開催であり、展示を含み36台が出店しにぎわいを演出しました。

また、テント市会場にも河津町商工会の姉妹商工会である愛知県・新城市商工会、経済産業支援協定を締結している長野県・山形村商工会、伊豆下田法人会河津支部、伊豆下田青色申告会河津支部など、各種団体計8ブースが出展し、各種販売、啓発活動を実施しました。

◆◆◆ 新規加入会員の紹介 ◆◆◆

理事会に於いて承認された皆さまです。よろしくお願い致します。
令和4年9月9日～令和4年11月14日

事業所名	代表者名	業種	地区
《Hale's☆Hale's》	山崎真由美	リラクゼーション	松崎町(特別会員)
Manas Cafe	上嶋 玲子	飲食	東伊豆町(特別会員)
(株)アブソリュート	稲葉 琢	卸売	笹原
桜ざか	加藤 邦弘	宿泊	峰
小川工務店	小川 哲也	建築	見高

当日は9時の開始から多くの人出であり、12時の終了時間まで人が絶えることなく1,300人(主催者発表)が来場し、姫宮通りは大いに賑わいました。

テント市に出店の新城市商工会ブースでは、特産品の梅の加工品やお茶製品、幻のお米「ミネアサヒ」などを、山形村商工会ブースでは、特産品のりんご、長いも、ごぼう、生そばを販売し、いずれのブースでも盛況でした。

河津寄って軽トラ市は河津町産業経済連絡協議会主催、河津町商工会が事務局を担当しており、本年度は今後3月26日(日)に同会場での開催を予定しています。

青年部事業報告

青年部視察研修

青年部では11月28日、静岡市葵区にある「ガイアフロー静岡蒸溜所」へ視察研修に行つてきました。

「ガイアフロー静岡蒸溜所」は2016年当時全国で10ヶ所目のウイスキー蒸溜所であり、県内産の桜チップを使い静岡らしいウイスキーを製造しています。

また、昨今流行っている「クラフトウイスキー」という言葉を生み出した会社でもあります。

※クラフトウイスキーとは「小規模蒸溜所(クラフト・デイスティラリー)」で製造されるウイスキーを表します。

帰りは清水港へ土肥港を75分で結ぶ「駿河湾フェリー」を利用しました。県中部、西部の方が伊豆へ来るルートとされませんが、実際に乗船し快適さに驚きました。今後伊豆へ来る観光客への新しいルートとして期待したいです。

青年部では今後も、地元を



駿河湾フェリー船上にて



ガイアフロー静岡蒸溜所工場内にて

活性化する取り組みの参考となる視察研修をし、盛り上げていく努力をしまります。



軽トラ市 開催!!

軽トラ大集合!

令和5年 3月26日(日)

9:00-12:00

(荒天中止) 河津町笹原 姫宮通り

野菜・果物・グルメ・食品・雑貨・手芸品など軽トラの荷台で展示販売致します。
※新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる事があります。

